



佐々先生の 海外・帰国 あれこれコーナー

このコーナーでは、いろいろな立場の人たちの声を聞きながら、特に海外に住んでいる保護者の方々に役立てていただける情報や、参考になる考え方を提供していきます。

取り上げてほしいテーマ、ご意見、ご感想などをお知らせください。皆様の声を聞きながら、このコーナーをできるだけ実際に役に立つものにしていきたいと思っています。連絡は、Eメールで、sasa@keimei.ac.jp までお願いいたします。

啓明学園中学校・高等学校 校長 佐々 信行（さっさ のぶゆき）

ハンブルク補習校、帰国子女受け入れ担当（横浜市）、日本語イメージ・プログラム教諭（バージニア州）・ワシントン補習授業校を経て、現職。

夏休み

「夏休み」の、発想は日本とアメリカではかなりちがいます。どちらがいいかと言うことになれば、いろいろな意見があるでしょうが、季節のイベントは文化の一部でもあるので、簡単に変えることはできません。日本にいる時には日本の、アメリカにいる時はアメリカの夏休みの良さを生かし、充実した成長の機会とすることを考えるのが得策でしょう。

◆ 日本の夏休み

数年前までは、北海道などを別にすれば、8月いっぱいが夏休みで、9月1日から2学期というのが一般的でした。ところが、最近では、学年2学期制をとる学校が増えたこともあって、8月中旬に授業を再開するケースが多くなりました。その日も、学校によってまちまちです。8月31日には、日本中で子どもの宿題に右往左往という風物詩は薄れつつあります。正月が正月らしくなくなって来たのと通じるところがあるようで、少しさびしい気がしないでもありません。ちなみに、啓明学園は、昔ながらの3学期制で、2学期は9月1日に始まります。

夏休み中も、日本の学校、特に中学・高校では、学校としての動きはほとんど止まることはありません。啓明学園でも、

意欲の高い生徒のための特別学習や補習などの授業があり、運動や音楽の練習があり、9月の文化祭の準備がありで、たくさんの生徒が登校してきます。また、普段はできない教育活動をということで、農業体験、理科観察会、社会科見学、英語宿泊研修など、校外で学習するいろいろな行事が組まれます。海外体験学習もあります。

正規の授業はなくても、学校としての教育活動は休まず行われているのです。まとまった時間がとりやすいので、部活動などは、夏休み中にむしろ積極的に活動する場合があります。スポーツ、音楽、美術など、たくさんの部やグループが、合宿をしてレベルアップを図ります。夏休みは、時間を気にせず、好きなことに打ち込める幸せなときでもあります。

編入を予定している時など、訪ねて行けば見学をすることもできるし、先生や生徒に会うこともできます。

部活動などに参加せず、あまり登校しない生徒たちもいますが、その子たちでも、出された課題に取り組んだり、宿題をこなしたりしなければならないので、学校を忘れることはできません。学年の変わり目ではないので、先生たちは、夏休み中でも、担任する生徒たちを気にかけて、必要なときには相談に乗ってくれます。

◆ アメリカの夏休み

私は、以前、アメリカの公立小学校で教えていましたが、夏休み中は、校長などを除いて、教員の契約期間ではありませんでした。教室の荷物は、どこにでもすぐに移動できるように箱詰めをし、6月末から夏の間は学校から全く離れた生活をします。前の学年は終わっているし、新しい学年は始まっていないので、公式にはその間責任を持たなければならない生徒たちはいないことになります。サマースクールなどで教える場合にも、その期間だけ改めて雇用され、多くの場合、別の校長のもとで、普段とは違う環境で仕事をします。夏の間だけ、全



夏休みに稲の世話をする小学生